

## 『観光学』執筆要領

制定 平成21年 6月18日

最終改正 令和 6年11月21日

### 1. 原稿の構成と書式

原稿は、A4用紙を用い、表紙・本文・注・参考文献・図表・要旨で構成する。各構成要素の書式は以下の通りである。

(1) 表紙：表題・著者名・所属（原則1つ、ただし編集委員会が認めた場合はこの限りではない）・キーワード（5つ以内）を日本語と英語で記載する。翻訳と書評については、キーワードのかわりに翻訳もしくは書評した論文や本の書誌情報を原著の言語でつけること。また、投稿原稿の種別と刷り上がり予想枚数も明記すること。

(2) 本文：日本語の場合、横書きで1頁あたり40行×40字で印刷する。英語の場合はこれに準じた分量で印刷すること。

(3) 見出し：左詰めとし、下記の通りとする。

第1段：I. II. III. ...

第2段：1. 2. 3. ...

第3段：(1) (2) (3) ...

(4) 注：番号順に掲載し、本文中の該当箇所に番号を付すこと。使用しない場合は省略することができる。

(5) 参考文献：書籍の場合は「著者名・書名・出版社名・発行年」、論文の場合は「著者名・論文名・雑誌名・巻号・頁・発行年」に関する情報を必ず記載する。ただし、挙示の仕方は著者の採用する方式にまかせる。これらの文献情報を、アルファベット順に並べて掲載すること。使用しない場合は省略することができる。推奨方式はAPA方式とする。

(6) 図表：本文中に出てくる順に、注とは別に番号を付与し、本文中の該当箇所にあらかじめ表示するか、該当箇所を指示すること。ただし、図と表の両方を使う場合は、それぞれで番号を別に付与すること。使用しない場合は省略することができる。

(7) 要旨：英文とする(200words以内)。翻訳のうち、英文要旨を含む場合は日本語とする。観光フォーラム・書評については、省略することができる。英文要旨については英語校閲業者等の校閲を受けることを推奨する。

(8) 謝辞等：投稿時には記載しない。投稿論文等の掲載が決定した後に編集委員会に申し出て、加筆することができる。

(9) その他：翻訳の注・参考文献・図表・要旨の書式や、それぞれの記載の有無は原著に従うこととする。作品については、その形式によっては本文・注・参考文献・図表・要旨を適宜省略することができる。また音楽や映像などの情報を電子媒体で付加することができる。

## **2. 原稿の分量**

刷り上がり頁数で、研究論文・実践研究論文・専門論文 12 頁，研究ノート・判例研究・観光フォーラム・翻訳 10 頁，書評 10 頁，作品は 10 頁を上限頁とする。1 頁の刷り上りは 26 字×47 行×2 段（2,444 字）である。この長さを超えるものでも，編集委員会が必要と認めた場合は，掲載することがある。ただし上限頁を超えた場合には，投稿規程に従った超過料金を請求することがある。